

第6回和田英作・和田香苗記念絵画コンクール

～受賞作品の一部ご紹介（敬称略）～

◎一般の部



▲和田英作賞／黙
大西 隆夫（滋賀県）

◎一般の部



▲優秀賞／幸福の旅
間世田 文子（鹿屋市）

◎一般の部



▲井口賞／財部駅
篠原 寛人（垂水市）

◎ジュニアの部



▲和田香苗賞／どうぶつえん
中野 知愛（さざなみ保育園年長）

◎ジュニアの部



▲和田香苗賞／でっかい大玉
宮原 菜摘（境小学校2年）

◎ジュニアの部



▲和田香苗賞／みんなで木きん
江口 偉舞輝（柘原小学校4年）

◎ジュニアの部



▲和田香苗賞／新城郵便局
大山 悠斗（新城小学校6年）

◎ジュニアの部



▲和田香苗賞／神社
大場 さき（垂水中央中3年）



1 / 受賞者記念撮影（ジュニアの部）



2 / 受賞者記念撮影（一般の部）

12月8日、第6回和田英作・和田香苗記念絵画コンクールの表彰式が、垂水市文化会館で開催されました。「ふるさとの山河を描こう！」をテーマに、身近なふるさとの山・川などの絵画を募集し、高校生以上一般部門に102点、市内幼稚園児・保育園児から小・中学生までのジュニア部門に517点の応募があり、同コンクール大賞「和田英作賞」は、大西隆夫氏（滋賀県）の「黙」が受賞されました。

垂水中学校平成7年卒業生 同窓会&垂水中央中学校へ寄附

1



2



1 / リブマックスリゾート桜島シーフロント
平成7年卒垂水中学校卒業生の皆さん

2 / 垂水中央中学校校長室
左から、
垂水中央中学校／今村教頭先生、長崎校長先生
同窓会実行委員／小森慎也委員長、川畑誠委員

1月2日、リブマックスリゾート桜島シーフロントで、平成7年（1995年）の垂水中学校卒業生が同窓会を開催しました。この同窓会は、垂水中学校の伝統として引き継がれているもので、男性が本厄を迎える年（数え年で42歳になる年）に合同厄払いを兼ねて開催されています。同日は、全国から50人の卒業生と恩師2人が出席して、亡師・亡友への黙祷を捧げたあと、中学校時代の思い出を語り合ったり、近況を報告しあったりして、大いに盛り上がりました。また、今回の同窓会費の余剰金を、垂水中央中学校に寄附しました。実行委員長の小森慎也さんは、「少額ではありますが、私たちの後輩であり、未来の垂水を担う生徒たちの成長に貢献できれば幸いです」と話しました。

1月11日、柘原地区公民館を中心に策定した地域振興計画「柘原づくり計画（見直し版）」の一環として、柘原小学校で「デッサンの手法をみんなで見学しよう絵画教室」が実施されました。垂水市在住の画家・葛迫幸平さんがデッサン用具の説明やスケッチを披露した後、児童たちは本物の技術を観て学び、デッサンをしました。現在、柘原地区公民館ロビーが垂水街角美術館ギャラリーとして開放されており、児童と葛迫さんの絵が鑑賞できます。



デッサンの手法をみんなで
見学しよう絵画教室